

# 実態聞き 国動かす

## 東北の命綱

日本共産党の高橋ちづ子衆院議員(61)は6期17年、東北地方を駆けめぐり、住民の声を国会に届け政治を動かしてきました。来たる総選挙でも、地方と国会をつなぐ高橋議員の「東北の命綱」の議席は絶対に欠かせません。

### 100億円約束

新型コロナウイルスの感染拡大は、震災復興途上の東北地方にも深刻な打撃となりました。地域の現状を知るため高橋議員は各地を駆けまわり、国会で持続化給付金や雇用調整助成金、家賃補助制度などの実現や拡充に道を開いてきました。

6、7月、岩瀬友参院議員、ふなやま由美衆院議員、東北比例候補とともに、東北6県で「要望を聞く会」と救済募金に取り組みました。青森県の会場では、県タクシー協会の男性の「観光客が激減し、営業収入は5〜6割減と

なっています。まだまだ先が見えず、長引けば廃業に追い込まれる」という訴えに、「県民にとって不可欠な地域交通として位置付けるべきです。国で支援できるように国会委員会で頑張ります」と約束しました。

8月には山形県上市市の観光協会で旅館経営者らと懇談。震災や豪雨など災害の困難から抜け出そうとしていた矢先のコロナ禍で、イベント中止や宿泊キャンセルによって売り上げが前年比4割になっているなど、厳しい状況が語られました。高橋議員は、「雇用調整助成金の受給延長はどこでも切実な願いです」と応じ、経営と従業員の雇用を守れと厚労省に迫っています。

## 日本共産党 衆院議員 高橋 ちづ子さん

高橋議員は、「声をあげれば変えられることを実践で示すことが自分の役割」と決意を胸に、現場の声をもたして国会で訴えを強めています。

### コロナ・医療

6月の衆院国土交通委員会では、東北三大まつりを始め各地でイベント中止が相次いでいることによる損失を示し、「地域に即した直接の支援が必要」と主張。答弁した赤羽一嘉国交相(当時)は、地方の観光事業支援とし



て約100億円を計上することを約束しました。

### 処遇改善へ

地域医療の拡充についても、厚生労働委員として介護福祉、保育従事者の処遇改善を提案することで予算に反映させてきました。

感染症対策など、不採算医療を担っている全国の公立・公的病院に対して、厚労省が再編統合の議論が必要だと名指した問題では、各県で院長らと会い、「厚労省に撤回を強く求めるとともに、医療現場の実態をつかんで、要望に応える施策も提案していきたい」と訴え、意見交換を重ねています。

全国で聞いてきた声をもとに、予算委員会で安倍前首相に「コロナ禍で感染症病床や資材の備えもなく、病床削減強行とはどういうことですか」と追及。数日後、懇談した公立病院の院長から「テレビで見て驚きました。私たちの声を届けてもらえて、大きな激励をいただいた」とお礼の手紙が届きました。

再編問題で病院関係者と懇談する高橋議員(立っている人) = 2019年12月25日、秋田県羽後町